

公益的取組み

2023 年度事業計画

認知症カフェ カフェ・ド・オランジュ松寿園
友達の輪食堂
パートナー講座
あんしん電話
夕食サービス
クールオアシス
会議室等無料貸し出し

役職・氏名

統括部長 正田 貴之	
施設サービス部	部長 平居 昭範
地域福祉サービス部	部長 齋藤 直人
地域包括支援センター部	部長 小山 日愛
法人本部	部長 正田 貴之 部長補佐 正田 文乃

取組み	認知症カフェ「カフェ・ド・オランジュ松寿園」
担当	運営プロジェクトチーム（認知症デイ・特養・居宅・包括等）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症になっても住み慣れた街や家で住み続けられるような地域づくりを支援する（居場所づくり・社会的孤立感の軽減・ピアカウンセリング・情報収集・相談の場等） ■ 社会福祉法人として、地域支援・地域貢献につながる取組みを積極的に実践する ■ 地域の人的資源であるオレンジ協力員の方との協働の場をつくる
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：平成 26 年 10 月～ ■ 内容：情報提供等（20 分程度）＋カフェタイム（茶菓提供） ■ 開催日：毎月第 2 火曜日 13:30～15:00 ■ 対象者：認知症の方、ご家族の方、地域の方 ■ 参加費：無料 ■ 場所：特別養護老人ホーム 3 号館エントランス ■ その他：申込不要・送迎なし <p style="text-align: center;">* 休止中（新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら）</p>

取組み	友達の輪食堂
担当	運営プロジェクトチーム（特養・デイ・居宅・包括等）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 孤食対策の一環として、共食の機会をつくる ■ 独り暮らし高齢者の食事量・必要な栄養やエネルギーの摂取、筋肉量の維持、活力の維持。 ■ 在宅生活の継続の一助として
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：2023 年度 ■ 内容：情報提供等（15 分程度）＋昼食 ■ 開催日：毎月 1 回程度から実施 ■ 対象者：独り暮らしの高齢者の方等 ■ 参加費：250 円(食材相当) ■ 場所：特別養護老人ホーム 3 号館エントランス ■ その他：事前申込制・送迎なし <p style="text-align: center;">* 準備中（新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら）</p>

取組み	六高台福祉会パートナー講座
担当	運営プロジェクトチーム（研修委員会・特養・デイ等）
目的	六高台福祉会が行っている事業や職員が有する知識・技能等の専門性を地域の皆様にお伝え（講義・演習）することで、地域福祉（自助・互助・共助）に関して理解と関心を深めていただく為の無料出張型サービスです
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：平成 29 年度～ ■ 内容：下表メニューの中から選んでいただき、ご希望の日、ご希望の場所へ法人職員を講師として派遣いたします ■ 開催日：予約制 ■ 時間：30 分～1 時間程度。 ■ 対象者：おおむね 10 人以上で集まることができる団体、グループ等 ■ 費用：無料 ■ 場所：地域の皆さんの主催する催しに、職員が講師として伺います

	講座名	内容	種別	担当
1	高齢者の生活を支える介護保険制度について	介護保険制度の概要を分かりやすく解説します	制度	地域包括支援センター
2	介護施設の種類とその機能	様々な介護施設について種別ごとに役割と機能を解説します	制度	地域包括支援センター
3	介護実践塾 ～家庭介護における安全な技術～	安全で安楽な介護が家庭の中でも行われるよう、ケア（食事・移乗・排泄等）におけるポイントをお伝えします。	介護	特別養護老人ホーム
4	福祉用具の種類と使い方	快適で安全な福祉用具を適切に使用することで、要介護者と介護者の生活がより快適になるよう支援します。	介護	特別養護老人ホーム
5	高齢者の疾病と薬のはなし	加齢に伴い注意する疾病と薬のはなしをします。	介護	特別養護老人ホーム
6	認知症予防のおはなしと脳トレーニング	認知症予防に効果的な脳の活性化プログラムを楽しく行います。	認知症	デイサービス
7	認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を養成します	認知症	特養・地域包括支援センター
8	健康体操～うんどうの習慣化の支援～	健康寿命の延長やうんどうの習慣化が図れますよう、プログラムを体験していただきます	運動	特別養護老人ホーム
9	食事が支える暮らし	栄養状態の維持は、在宅生活の継続のポイントです。食事の重要性と美味しく摂取できるポイントをお伝えします。	栄養	特別養護老人ホーム
10	高齢者の料理教室	高齢者の方が安全に美味しく食事を食べて頂くための調理工夫をお伝えします。	栄養	特別養護老人ホーム
11	感染症・食中毒の予防対策について	インフルエンザやノロウイルスなど感染症の発症の予防や発症時の対応について解説します。	健康	特別養護老人ホーム
12	熱中症の予防対策について	脱水予防を図ることは、認知症の予防の観点でも大切です。水分摂取の重要性を学びます。	健康	特別養護老人ホーム

取組み	あんしん電話
担当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人本部サポートセンター ■ 特別養護老人ホームサービス調整担当課（電話確認） ■ 六実六高台地域包括支援センター（訪問） ■ 実施主体：関係 4 団体 <ul style="list-style-type: none"> 六実六高台地区町会・自治会連合 (◎) 六実六高台地区高齢者支援相談員会 六実地区民生委員児童委員協議会 六実六高台地区社会福祉協議会 ■ 協力：六高台内科胃腸科クリニック
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 暮らしの安心から期待される QOL の向上。居宅限界点の向上への期待 ■ 地域関係団体とのネットワークを構築するための具体的取組みとなる ■ 地域関係団体の活動が活性化されることで、地域における「自助・互助・共助」の組み合わせによる自主的地域包括ケアの活動を推進していく具体策となり得る ■ 事業経費が低廉であること。利用者負担がないことから、社会福祉法人が取り組むべき活動としての使命と合致すること
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：平成 25 年 10 月～ ■ 対象者：六実六高台地区在住の 65 歳以上の高齢者のいる世帯 但し、「単独世帯」又は「高齢者のみの世帯」 ■ 利用料：無料 ■ 内容： <p>ご利用者のご自宅のお電話（携帯可）に 1 週間に 1 回（ご希望の日時）、安否確認のお電話を差し上げます（自動音声）</p> <p>お電話の内容は・・・（機械録音された定型文です）</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆「お元気でいらっしゃいますか？」 ☆「こちらは、松寿園あんしん電話です」 ☆お元気な方は、* を押しその後に 1 番を押してください ☆連絡が必要な方は、* を押しその後に 2 番を押してください ☆体調がすぐれない方は、* を押しその後に 3 番を押してください <p>「* 2 又は * 3 を押された方」、「2 日連続で電話での応答が確認できない」方は、松寿園より直接連絡し、状況確認を行います</p> <p>訪問等が必要と思われる場合は、地域ご担当の支援相談員・民生児童委員の方等にご連絡し、実際に安否確認等をおこないます</p>

取組み	松寿園夕食サービス
担当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人本部サポートセンター（管理栄養士・エームサービス株式会社） ■ デイサービス、メル・グラン、ショートステイ
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 可能な限り居宅において、食生活をとおして健康を保持され、自立した生活を営むことが出来るよう支援する
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：平成 25 年 11 月～ ■ 内容：調理委託会社提供の夕食のお弁当を提供する ■ 対象者：松寿園デイサービス、メル・グラン、ショートステイ利用者のご家族 ※家族＝調理等困難な方が対象です。家族のみの利用は行っていません ■ 料金：400 円→500 円（2023.1～）→600 円（2023.5～） ■ 利用日：松寿園デイサービス、メル・グラン利用者＝利用日のみ 松寿園ショートステイ利用者＝退居日のみ ■ 実績：月 100 食程度

取組み	熱中症予防休憩所（クールオアシス松寿園）
担当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人本部サポートセンター
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の方の熱中症を予防する ■ ご面会のお客様に休憩場所を提供する ■ 施設に気軽に入ってもらえる仕掛けとする
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開始：平成 27 年夏季～ ■ 内容：冷たい水・お茶の提供、涼しい場所の提供 熱中症予防のための情報提供等（厚労省資料の配布） ■ 開放日：毎年 7 月～9 月 ■ 対象者：どなたでも ■ 料金：無料

取組み	会議室・車いすなどの無料貸し出し
担当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人本部サポートセンター・特別養護老人ホーム・居宅介護支援事業所
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設設備・備品等を地域に開放・貸出しすることにより、地域との交流促進及び在宅生活の支援をおこなう
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内 容：会議室の貸出し、車いすの貸し出し ■ 対象者：どなたでも ■ 料 金：無料 ■ その他：予約制

3. その他

六高台福祉会のあゆみ

1986 (S61) 年 9 月	社会福祉法人六高台福祉会設立認可
1987 (S62) 年 4 月	特別養護老人ホーム松寿園 50 床開設、ショートステイ事業 4 床開設
1987 (S62) 年 6 月	デイサービスセンター松寿園開設 (松戸市初)
1991 (H3) 年 4 月	特別養護老人ホーム 50 床/ショートステイ 16 床増床 (計: 特養 100 床・ショートステイ 20 床)
1998 (H10) 年 6 月	五香六実地区在宅介護支援センター受託
1999 (H11) 年 6 月	訪問介護事業所松寿園開設
2000 (H12) 年 4 月	居宅介護支援事業所松寿園開設
2002 (H14) 年 2 月	五香六実地区高齢者支援連絡会事務局受託
2006 (H18) 年 4 月	介護予防事業開設 (デイ・ヘルプ・ショート)
2006 (H18) 年 8 月	高齢者うんどう教室スタート・・・20 周年記念事業
2007 (H19) 年 4 月	常盤平地区地域包括支援センター受託/介護予防支援事業所指定
2008 (H20) 年 7 月	SS フロア改修/DS 一部改修
2010 (H22) 年 7 月	ケアプランセンター六実開設 ホームヘルプサービス六実移設 (名称変更)
2012 (H24) 年 3 月	認知症対応型デイサービスメル・グラン開設 (地域密着型サービス)
2012 (H24) 年 4 月	特別養護老人ホーム松寿園アネックス 60 床開設 特別養護老人ホーム松寿園 1 号館全面改修工事 (多床室 10 床の個室転換含む) (計: 多床室 90 床、個室 60 床) *土地の購入
2013 (H25) 年 10 月	六実六高台地域包括支援センター受託/介護予防支援事業所指定 明第 1 地域包括支援センター受託/介護予防支援事業所指定 * H25.9.30 常盤平地域包括支援センター受託終了 * 六実六高台・五香六実地区高齢者支援連絡会事務局受託修了 あんしん電話サポートスタート
2013 (H25) 年 11 月	夕食サービススタート
2014 (H26) 年 10 月	カフェ・ド・オランジュ松寿園開店 (認知症カフェ)
2015 (H27) 年 9 月	サービス付き高齢者向け住宅 松寿園エミシア松戸六実開設
2015 (H27) 年 10 月	通所型サービス C 松寿園ココからスタジオ開設
2016 (H28) 年 9 月	法人設立 30 周年
2017 (H29) 年 4 月	松寿園事業開設 30 周年・30 周年記念誌発刊 「ありがとう」の軌跡
2018 (H30) 年 4 月	六実六高台地区高齢者支援連絡会事務局受託再開
2019 (H31) 年 1 月	社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 (奨学金)
2020 (R2) 年 10 月	土地の購入、非常用自家発電設備の設置
2021 (R3) 年	福祉有償運送・ケアスクール・多床室プライバシー保護改修工事

会議

	会議名	頻度	対象	内容
1	幹部会議	週 1 回	幹部職員	全体共有事項 全体検討事項
2	全体会議	適時	全職員	全体共有事項 研修
3	課長会議	適時	課長職以上	課題の検討・共有・修正 研修
4	特養会議 デイ管理者会議	週 1 回	各リーダー	振返りと予定確認 事業 PDCA の確認
5	サービス調整担当課会議 特養各フロア会議 ショートステイ会議 デイサービス会議 メル・グラン会議 ココからスタジオ会議 エミシア会議 居宅会議 ヘルプ会議 包括会議	月 1 回 以上	各所属職員	現状共有 課題の抽出・検討・調整 カンファレンス 振返り、現状確認 課題の抽出と共有・検討 情報共有
6	入居判定委員会	適時	特養各職種	調査報告と判断
7	その他	適時	必要と思われる 職員	必要と思われる事項

委員会

委員会名

研修委員会

目的	ゲストの皆様が毎日笑顔で過ごせるように、業務上必要な専門知識、技術、資質の向上を図ることを目的に実施する。
取組み	<ul style="list-style-type: none">■ 最新情報や専門外の知識も身につけられるようにeラーニングを活用する4月 実践・認知症ケア（認知症ケアの考え方）5月 実践・認知症ケア（ケーススタディ）6月 実践・認知症ケア（目先の技術よりも大切なこと）7月 熱中症対策（厚労省動画）8月 緊急時の対応に関する研修9月 防災委員会研修10月 感染症対策（高齢者がかかりやすい感染症）11月 虐待防止研修（虐待への対応）12月 プライバシー保護の取り組み1月 感染症対策（高齢者施設で発生しやすい感染症と感染対策）2月 ハラスメント防止3月 虐待防止研修（虐待の予防） <ul style="list-style-type: none">■ 平時から、実際に感染症が発生した場合を想定し、発生時の対応について、訓練（シミュレーション）を定期的（年2回以上）に行う（運営基準）■ 介護技術研修（年4回）※シナジーワーク研修■ 普通救命研修（日時、実施回数については六実消防署と調整し決定）■ ほめ達研修（中間管理職以上は、3級を取得）

委員会名	防災（防犯）・非常災害対策委員会
目的	<p>災害から、ゲスト・スタッフの人命を守ることを一義的に、地域の取り組み（防災や防犯活動等）にも参画し、地域住民との互助・連携の精神のもと地域貢献に努めます。</p> <p>想定される災害に備え必要物品（非常食・水・防災備品等）を整備するとともに、迅速な対応が行えるよう体制を整備します。</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 火災予防を目的とした施設内及び施設外周辺のラウンド・環境整備 ■ 暴風雨・地震・火災等、あらゆる非常災害時を想定した避難誘導訓練の定期実施（非常用自家発電機自主点検） ■ 防災意識を高めていくためのミニ研修の定期実施 ■ 要援護者をはじめ、災害時の地域の福祉避難所としての機能整備 ■ BCPの共有（必要に応じた計画の見直し） ■ 防犯（公用車へのステッカー掲示や子供110番の周知）対策への取り組み

【年間計画】

4月	事業計画の共有 新人研修 非常用自家発電機自主点検
5月	防災倉庫整理
6月	防災研修（BCP見直し・共有・ミニ研修等）
7月	非常用自家発電機自主点検
8月	非常災害時想定避難訓練（暴風雨・地震・火災想定）
9月	防災研修（BCP見直し・共有・ミニ研修等）
10月	計画停電（非常災害時想定避難訓練）
11月	防災（避難）訓練（秋の火災予防運動期間11/9～15）
12月	防災研修（トレーナー消火器演習）
1月	非常用自家発電機自主点検
2月	防災研修（BCP見直し・共有・ミニ研修等）
3月	防災（避難）訓練 年度の振り返り・次年度委員会計画の共有

委員会名	介護事故安全対策・身体拘束廃止委員会
目的	<p>施設内におけるヒヤリハット・事故の発生、再発を防止していくため、リスクマネジメントの強化を施設全体で継続的に推進していきます。</p> <p>高齢者虐待防止、身体拘束の適正化に向けた検討会を昨年同様、定期的を実施していきます。</p> <p>又、福祉機器推進プロジェクトにて既存の福祉機器の更なる定着とICTの活用による業務の効率化、業務負担の軽減に向け取り組んでいきます。</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者虐待防止、身体拘束廃止に関する研修の実施 (身体拘束の適正化に関する検討会を年4回実施) ■ ゲストの心身の状態、生活環境等から個々の状態把握に努め、多職種(介護、看護、栄養、相談、ケアマネ)共同によるアセスメントを通して、介護事故の予防に向けた定期的なカンファレンスを実施する ■ ヒヤリハット・事故報告書の分析を行いマニュアルの変更等を提案し、再発防止に努める ■ 現在使用している福祉機器の他、介護ソフトと連動したタブレット(ICT)の活用と定着に向けた支援を実施する

委員会名	保健・衛生・感染症対策委員会
目的	<p>日常的衛生管理・基本管理の基本となる環境整備・清掃を習慣として根付かせることにより感染症対策の充実を図り、感染の予防・拡大を防止します。</p> <p>職員を災害・疾病から守るための方策として、主に、健康管理・作業管理・環境管理・衛生教育・5S活動などを行います</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染症対策委員会を定期的を実施します (5月、7月、9月、11月、1月、3月) ■ 感染症に関する意識啓発、感染症・食中毒の発生、まん延の防止に関する研修を実施し、感染予防・発生の対応に努めます ■ 5Sラウンドを毎月実施し、日常清掃・環境整備の習慣化を図ります ■ 褥瘡発生の予防、及び発生時の対応を検討します ■ 衛生管理者の増員を図ります ■ 職員の心身の健康を確保するとともに、快適な職場環境の確立に努めます ■ 疾病の早期発見を目的とした健康診断・ストレスチェックなどの要観察者に対する対応を行います

委員会名	食事サービス委員会
目的	<p>松寿園のサービスの“強み”の1つに食事サービスがあげられます。「最期まで自分の口で食べるという」経口維持に向け、食事サービスの「美味しい・安全・安心」を高いレベルで提供させていただきます。今年度より新たに日清医療食品(株)に委託先が変更になりました。さらにより良いパートナー関係を構築し、引き続きその“強み”が維持されるように努力していきたいと思います。今後もゲストが自分の口で美味しいご飯を食べたいという思いに対して、多職種で連携して取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストの方々の食事を楽しいものにしていく。 ・喫食率アップを目指し、健康維持へつなげる。 ・感染対策に努め、食中毒を予防する。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■楽しい食事の時間を提供していくために、多職種で連携を図る。 ■栄養マネジメントの多職種協働ケアの実施を進めていく。 ■新たな献立メニューを検討し、行事食を実施することで季節感を感じてもらう。

【年間計画】

月	日	内容	体験	協賛
4月	14日	松寿園栄養ケア	バイキング	(株)日清
5月	12日	口腔のケア	ケア用品	未定
6月	9日	防災食について	アルファ米	(株)尾西
7月	14日	脱水症と水分管理	アクアサポート	(株)明治
8月	11日	排便について	サンファイバー	(株)太陽化学
9月	8日	嚥下調整食の作り方	プリンナール	(株)ファイン
10月	13日	栄養補助食品について	コーゲンゼリー	(株)クリニコ
11月	10日	嚥下について	とろみ飲料	(株)クリニコ
12月	8日	高齢者の貧血	鉄ゼリー	(株)サンプラネット
1月	12日	おやつレク	きなこ飴等	
2月	9日	腸内環境	ヤクルト	(株)ヤクルト
3月	8日	ミキサー寒天食の歴史	ミキサー寒天食	(株)伊那食品

*毎月、スクリーニング結果、食中毒、嚥下調整食、行事食について検討。

サービスコンセプト

- ◇ みんなの笑顔のために
- ◇ 介護を通じて「生きる」をサポートしま
- ◇ 素晴らしかったと言える人生のために
～1人のゲスト、1日の暮らし、そして1つ1つの介護から

事業

- ◇ 特別養護老人ホーム松寿園
- ◇ 特別養護老人ホーム松寿園アネックス
- ◇ 松寿園エミシア松戸六実（サービス付き高齢者向け住宅）
- ◇ 松寿園ショートステイ
- ◇ 松寿園デイサービスセンター
- ◇ 認知症対応型デイサービスメル・グラン
- ◇ 松寿園ココからスタジオ（短期集中予防サービス）
- ◇ 松寿園ホームヘルプサービス六実
- ◇ 松寿園居宅介護支援事業所
- ◇ 松寿園ケアプランセンター六実
- ◇ 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業
- ◇ 福祉有償運送サービス
- ◇ 六実六高台地域包括支援センター／介護予防支援事業所
- ◇ 明第1地域包括支援センター／介護予防支援事業所

〒270-2203 千葉県松戸市六高台 2-19-2

☎047-386-6357 fax047-387-8720 □shojuen@rokkoudai.or.jp

URL : <http://rokkoudai.net>

社会福祉法人
六高台福祉会

松寿園
Shojuen